

新春特別対談

- 大阪と羽曳野の未来をつくる -



世界文化遺産、2025年大阪・関西万博をはじめ羽曳野市を取り巻く様々な動きがある中で、羽曳野市が飛躍していくためには、大阪府と羽曳野市がしっかりと連携しまちづくりを強く進めていく必要があります。新しい年を迎え、吉村洋文大阪府知事と今後の羽曳野市のまちづくりなどについて、地元選出の西元宗一府議にも同席いただき対談を行いました。

羽曳野、魅力の数々

■山入端市長（以下「山入端」）

■西元府議（以下「西元」）

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

■山入端 府議時代にもお世話になり、こうして市長として対談をさせて頂くことに感慨深いものがあります。お忙しいところお時間をいただき本当にありがとうございます。

■吉村知事（以下「吉村」） 羽曳野市は、豊かな自然に恵まれ、世界文化遺産や日本遺産など歴史と文化に溢れたまちですね。また、立地的にも大阪の中心地から近くとても住みやすいまちだと思います。河内長野出身の私としては、同じ南河内ということで、とても身近に感じています。

■山入端 ありがとうございます。昨年7月、百舌鳥・古市古墳群が大阪で初めてとなる世界文化遺産として登録されて1周年になりましたが、新型コロナウイルスの影響で訪れる方が激減し大々的な1周年記念イベントもできませんでした。しかしながら、コロナに負けずに世界文化遺産のPRは力強くやっていく必要があると思っています。

■吉村 百舌鳥・古市古墳群については、羽曳野市、堺市、藤井寺市、そして大阪府が一体となって、国に提案してから登録まで12年間という長きにわたり取り組んできたことから、大変強い思い入れがあります。この間、古墳群とその周辺の観光資源を紹介する「DISCOVER 百舌鳥・古市古墳群」を作成するなど、ホームページやSNSでその魅力を発信しています。コロナ禍ではありますが、感染防止対策の徹底に努め、地元の市と連携しながら、大阪府域への誘客にも積極的に取り組んでいこうと思っています。

■山入端 大阪府と3市が連携して世界文化遺産のPRをしっかりと進めてまいりたいと思います。また、本市には日本最古の官道である「竹内街道」があり日本遺産として認定されています。「世界遺産と日本遺産のあるまち 羽曳野」を多くの方に訪れていただき、活気のあるまちにしていきたいと思っています。

大阪府との連携については、府議会議員の経験から市政運営全般にわたりたいへん重要だと思っています。特に、まちの利便性を高めるインフラ整備に

については、強固に連携していく必要があります。例えば、羽曳野市内を縦断し府域の環状機能や防災拠点である八尾空港へのアクセス強化のための都市計画道路八尾富田林線や、近鉄恵我ノ荘駅までのアクセス道路で災害時の地域緊急交通路にも選定されている府道郡戸大堀線など市民生活に密接に係るものはしっかりと連携し取り組んでいく必要があると思います。

また「ぶどう」や「ワイン」など羽曳野の特産物の国内外へのPRなども府市が連携してまちの魅力発信のひとつになれば良いと考えていますが、知事の考えをお聞かせください。

■吉村 府と市が連携し、まちづくりを進めるとともに地域の魅力を発信していくことはとても重要です。お話にありました府道の整備については、羽曳野市の協力も得ながら引き続き整備を進めていきます。

また、大阪府では府内の様々な逸品を大阪産として国内外へPRしています。大阪府立環境農林水産総合研究所の「ぶどう・ワインラボ」では、大阪ぶどうの新品種「ポンタ」などの普及啓発や、府内産ワインの品質向上、研



上空からの吉市古墳群(令和元年7月、世界文化遺産に登録)



(写真左) 2020年ダルビッシュ投手使用グラブは、羽曳野市の市章をモチーフに、victory(勝利)の「v」などがデザインされている。

(写真右) メジャー(ナショナル・リーグ)最多勝を記念し、市役所に垂れ幕を掲示



ぶどう・ワインラボ

【提供:(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所】



新品種「ボンタ」



(写真上下) ラボでの研究の様子



ダルビッシュ投手への市民表彰(特別表彰)と感謝状(2008年から1勝ごとに10万円の寄贈に対して)の授与を、アメリカで過ごす有さんの代理でご両親に。(11月24日、ダルビッシュミュージアムにて)

究開発に取り組んでいます。さらに、大阪ぶどうの美味しさを体感してもらえよう、海外ニーズを捉えたワインの輸出拡大等の支援等にもチャレンジしています。

■山入端 ありがとうございます。大阪府との連携を私自身が先頭になってけん引し、大阪府と羽曳野市のパイプ役の西元府議の力添えを得ながら、これまでにないまちの活力の創出によって地域活性化を進めてまいります。

羽曳野には梅酒、お肉、いちじく、碓井えんどう等みなさんにお勧めしたい特産品がたくさんあり、もっともっとPRしていきたいと考えています。是非、ふるさと納税を通じて味わっていただければとも思います(笑)。大阪府からの応援もよろしく願いいたします。

また、羽曳野市にゆかりのある方で、スポーツ界をはじめ学术界、文化人、クリエイターなど各界でご活躍されている方もたくさんおられます。アメリカ大リーグ・カプスのダルビッシュ有投手は、平成20年度から公式戦で1勝ごとに10万円の寄付を本市にされ、「ダルビッシュ有子ども福祉基金事業」

として子どもたちのために活用させていただいています。昨年10月には羽曳野市の市章をモチーフにデザインした公式戦用のグラブを寄贈していただきました。全国に羽曳野を知っていただく意味でもご活躍されている方々をPRしていきたいと考えています。

■吉村 羽曳野はポテンシャルが非常に高いと感じています。市長と市民が一体となって取り組むことができれば、それらを十分に活かすことができると思います。市民の皆さんに市長の思いを知っていただくためにも地道な広報活動がたいへん重要だと思います。

■山入端 ありがとうございます。広報の充実には就任当初から力を入れています。市政のこともガラス張りにして、市民の皆さんと情報を共有していくために日々新たな情報を発信しています。

■西元 新型コロナウイルス感染症が拡大始めてからおよそ1年になります。当初は、暑い夏になれば収束するのではないかとおぼろげに思われていましたが患者は発生し続けました。その中で、全国に先駆けて実施する吉村知事の取り

組みを大阪府議会議員として間近で見てきました。新型コロナウイルス感染症対策についての知事の考えをお聞かせください。

コロナとの関わり方

■吉村 新型コロナウイルスが世界中の人々の尊い命と健康を脅かし、経済にも大打撃を与えています。このような中で、府民の命を守ることを最優先に感染拡大の抑制と社会経済活動の両立を図るため、府内の感染状況を判断する独自指標・基準となる「大阪モデル」の運用やコロナ専門病院の設置、検査体制の充実等に力を注いでいます。また、飲食業や観光業等、大きな影響が生じている事業者に対する支援金やコロナ対策関連融資の創設、雇用対策など、かつてない規模の対策などを講じています。現在、世界的にワクチン開発等が進められていますが、コロナとの厳しい闘いは長期戦が見通されます。「コロナとの共存」を前提に、府民や事業者の皆さんと感染拡大に関するリスクコミュニケーションを図りながら、必要な支援が行き届くようしっかり取り組んでいきます。



■山入端 私たち基礎自治体もコロナを克服した先を見据え、しっかりと取り組んでまいります。そこに住む人々が健康で元気があるということは、まさに活気があるということです。私の重要視する施策のひとつに「健康寿命の延伸」があります。羽曳野では、ライフステージに応じた健康づくりや食育に取り組んでいます。大阪府では「健活10」として取り組んでおられますね。

■吉村 大阪府の健康寿命は全国と比較して低く、健康寿命を延ばすには府民一人ひとりが健康への関心を高め、生活習慣の改善、生活習慣病の予防に取り組むことが重要です。このため、大阪府では、『健活10』というキャッチコピーとロゴを作成し、「健康に関心をもちましょう」や「日頃から体を動かし運動しましょう」など、府民に取り組んでもらいたい10の健康づくり活動を推進しています。コロナ禍においても、SNS等を活用し、府民の皆さんの「健活」を応援しています。



■西元 まちが元気であるためには、景気も重要なポイントです。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに2025大阪・関西万博の開催に向け取り組みが進められています。ロゴマー



クが決定し、1970年万博の衣装を紹介するなど、その機運は高まってきています。大阪・関西万博の魅力を世界に発信することは、観光客を増大させ、地域経済が活性化する起爆剤となります。試算では経済波及効果は2兆円程度と見込まれており、コロナ対策を万全に実施し国内外から多くの来場者を受け入れ、成功させたいと思います。万博会場では、特産物をPRできるスペースの設置など、府域各市町村にも経済効果が波及するような取り組みをぜひお願いします。

2025 大阪・関西万博に向けて

■吉村 2025年大阪・関西万博に出展参加するにあたっての方向性・枠組みを示す基本構想を策定します。出展を通じて大阪を世界にアピールし、新たなイノベーションの創出、生活の質の向上、大阪の成長・経済発展につなげていきます。出展参加のテーマは「REBORN (リボーン)」。人は生まれ変わる、新たな一歩を踏み出すという意味が込められています。府内市町村のブランディングやアイデンティティ、ポテンシャルを国内外にアピールできる絶好の機会です。府内の自治体の皆さんのいろいろな意見を聞きながら、大阪産ブランドを発信していきたいと思っています。

■西元 ありがとうございます。大阪府と羽曳野市とのパイプ役となり、府政を市役所に市政を府庁にしっかりと届けていきたいと思っています。

■山入端 力強いお言葉、ありがとうございます。本市をはじめ南河内には多くの特産品があり、この機会を活用して世界にPRし、インバウンドにつなげていきたいと思っています。知事には是非とも羽曳野にお越しいただき、食前酒では世界に誇る梅酒、地場産品であるワインとお肉を存分に味わい、いちじくのデザートで羽曳野を満喫していただきたいと思っています。

最後になりますが、今後の大阪の発展について知事の考えをお聞きしたいと思います。

■吉村 2025年大阪・関西万博を見据え、コロナを克服した先にある「世界の中で躍動し、成長し続ける大阪」の未来をつくっていくことが大切です。コロナをはじめ、自然災害など様々なリスクを抱える我が国において、今まさに求められるのは東京と並ぶ強い自治体です。東西二極の一極として、日本の成長をけん引する「大阪」の確立に向けて、市町村、企業、大学等と一層連携し、力強く推し進めていきます。



また、最前線で行政サービスを担う市町村の基礎自治体機能の充実を図るため、すべての関係者の力を結集し取り組みを支援していく必要があると考えております。今後とも市町村の皆さんとしっかり連携して取り組んでいきます。

■山入端 ありがとうございます。これからも大阪府との連携を密にさせていただきたいと思っています。そして市民のみなさんの信託に応えるため、これまでの慣習や型にとらわれることなく、将来を見据えて今なすべきことを臆することなく形づけるために行財政改革に取り組み、スピード感をもって羽曳野市の発展のために全力で取り組んでいきたいと思っています。本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。